

# PRESS RELEASE

## UNAIDS プレスリリース

月 1 回投与の新たな HIV 予防薬が後期臨床試験で、新規感染防止に高い可能性

*治験薬の有効性が実証されれば、迅速な普及、手頃な価格、公平なアクセスの確保が極めて重要になる*

ジュネーブ／ヨハネスブルグ 2026 年 8 月 5 日 月 1 回の経口薬「アリマトラビル (alimatravir)」(別名: MK-8527) は、HIV 予防薬としてメルク・シャープ・アンド・ドーム社 (MSD) により現在、開発が進められており、有望な第 3 相臨床試験が進められている。試験が成功すれば、HIV 予防の新たな選択肢が加わり、エイズ終結に向けた重要な一歩となる可能性がある。

UNAIDS は、パートナー企業が製造や供給の準備を進められるよう支援する MSD の早期アクセス計画を高く評価する。月 1 回の経口投与による HIV 予防薬の製造に向け、MSD はアフリカの 3 社を含むジェネリック医薬品メーカーと自発的ライセンス契約を締結したと発表した。HIV 予防の新技术を迅速かつ公平に人びとに届けるには、科学的なイノベーションと同時に、資金調達や需要予測、アクセシビリティ (利用しやすさ)、規制への対応が可能になるような準備などにも、早くから計画を立てておくことが重要になる。

「科学的イノベーションにはエイズ・パンデミックの行方を変える力があります。ただし、その力は必要とするすべての人に届いてこそ発揮されるのです」と UNAIDS のアンジェリ・アクレカー事務局次長は語る。「アリマトラビル (alimatravir) の安全性と有効性が確認され、規制当局の承認を得られたら、直ちに製造規模を拡大し、低・中所得国でも初日から手頃な価格で利用できるようにしなければなりません。命を救う HIV 予防策のために、何年も待たされるようなことがあってはならないのです」

UNAIDS は南アフリカの Aspen Pharmacare 社、ウガンダの Quality Chemicals Industries Limited 社、およびケニアの Universal Corporation Limited 社に対する MSD 社のパートナーシップ提案を高く評価する。臨床試験が成功すれば、この合意はアフリカにおける医薬品の現地生産能力の強化に向けた重要な機会となる。また、持続可能な市場開拓と技術移転に支えられ、革新的な HIV 予防の選択肢を、最も必要としている人たちに届きやすくすることにもなる。

今回の発表は、イノベーションへの公平なアクセスの確保、および現地生産と地域レベルでの製造・共同調達を通じた「健康主権 (health sovereignty)」の強化を求める UNAIDS の「世界エイズ戦略」にも通じるものだ。この戦略は今年 6 月に各国が採択した「HIV とエイズに関する 2026 年政治宣言」でも再確認されている。

抗レトロウイルス薬を用いた HIV 予防策など、最近の科学的なイノベーションは目覚ましい進歩を遂げているが、それでも数百万という人たちが、とりわけ思春期の少女や若い女性、社会的に弱い立場に置かれている人たちが、HIV 感染の高いリスクに直面している人たちは、効果的な HIV 予防手段を利用できずにいる。

2025 年には 120 万人が新たに HIV に感染し、50 万人以上 (57 万人) がエイズ関連の疾患で亡くなっている。サハラ以南のアフリカでは、毎週約 3100 人の思春期の少女や若い女性が新たに HIV に感染している状態だ。2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を達成するには、予防の新技術による選択肢を広げ、同時にコミュニティ主導のサービスや保健システムの強化に継続的な投資を行うことが不可欠になる。

「UNAIDS は、臨床研究と地域的な生産体制、HIV 関連サービスへの公平なアクセスを結びつけるパートナーシップを歓迎します」とアクレカー氏はいう。「世界中のどこでも新たな HIV 予防ツールの生産を加速させ、手ごろな価格で利用できるようにすること、そしてアクセスを妨げる障壁を取り除くために協力することを各国の政府と製薬企業、グローバルヘルスのパートナー、コミュニティに対し呼びかけます」

あらゆる HIV 予防新技術の導入と普及を促すために、UNAIDS は、公平なアクセスの監視、手頃な価格設定の支援、コスト試算と資金計画の強化、そして持続可能な資金調達の確保に向けて各国やパートナーとの連携を続けていく。